

令和元年度 学校経営計画に対する最終評価報告書

石川県立七尾特別支援学校珠洲分校

重点目標	具体的取り組み	主担当	実現状況の達成度判断基準	集計結果	分析（成果・課題）及び次年度へ向けて（改善策等）	最終評価
1 キャリア発達を促す授業力の向上	① キャリア教育の視点を取り入れた授業を推進する。	進路指導課	各学部で実施したキャリア教育の視点を取り入れた授業の合計で A：15回以上計画実践した B：12回以上14回計画・実践した C：9回以上11回計画・実践した D：6回以上8回計画・実践した	キャリア教育の視点を取り入れた授業を全学部で14回実践することができた。 <実践例> 小：他己紹介をしよう 中：行きたい場所を伝えていってみよう 高：異性との関わり方	今年度は効果的なキャリア教育の実践のために、「キャリア教育全体計画」の見直しを行った。改定した「キャリア教育全体計画」をもとに授業作りを行うことで、児童・生徒の実態に合い、キャリア教育の視点を取り入れた授業を14回実践することができた。しかし、各学部で実践された授業には、部を超えた系統性が見られない場合が多くみられたため、次年度はキャリア教育の系統性について検討していく必要がある。	B
	② 教員の専門性向上と授業改善を推進する。	教務課	ライブラリに登録された教材・教具の数が教員20名に対して A：30以上 B：25以上 C：20以上 D：20未満	ライブラリに登録された教材・教具の数が教員20名に対して25のライブラリ登録があった。	今年度、教員の専門性向上と授業改善の新たな取り組みとして、「教材ライブラリの登録」に取り組んだ。夏休みには登録された教材を見る「教材展」も行い、お互いの教材や使い方について意見を交換することができた。今後、どのような教材・教具があり、どのように実践できるのかについてさらに共通理解を図っていききたい。	B
2 地域との繋がり	① 地域と関わる交流活動を推進し、アンケートを通して充実した交流活動に取り組む。	総務課	地域と関わる交流活動の内容充実度を判断基準とする。具体的には参加した人にアンケートを実施し「交流が深まった」「まあまあ深まった」と答えた人の合わせた割合が A：80%以上 B：70%以上 C：60%以上 D：60%未満	アンケート集計 7件 交流が深まった：33.2% まあまあ深まった：56.8% あまり深まらなかった：0% 全く深まらなかった：0%	ここ数年間、地域のお祭りに参加しており、地域住民と児童生徒との交流の場となっている。（みつけ桜祭り） 地域との交流活動を続けてほしい。（中学部フラワーアレンジメント） 毎年児童生徒の作品を展示していただき、ありがとうございます。（宝立町技芸展） 毎年行われている宝立町を中心とする地域交流活動への評価は高く、地域住民と児童生徒の交流の意識は高い。継続している行事も多いが、今後も交流や地域活動へ参加していきたい。また、学校付近だけでなく、珠洲市全体の行事、施設や団体と協力して地域交流活動を広めていきたい。	A
3 安心安全な学校づくり	① 捜索訓練、避難訓練、など安心安全な学校づくりのための取り組み内容を分校だより等で発信する。	生徒指導課	安心・安全な学校づくりに「取り組んでいる」「まあまあ取り組んでいる」と答えた保護者の割合が A：85%以上 B：75%以上 C：65%以上 D：65%未満	生徒指導通信を発行した。 安心・安全な学校づくりに「取り組んでいる」、「まあまあ取り組んでいる」との回答が91%となった	捜索訓練、避難訓練、防犯訓練、交通安全教室などの取り組みを通し、児童生徒が安心して安全に学校生活を送れるよう活動していることはこれまでもWebページでお知らせしてきたが、更に周知するために生徒指導通信を発行した。 保護者のご理解を深めるため、より多くの情報の提供を増やす必要があると考えている。 全職員の共通理解のもと目的意識をもって学校の安全管理ができるよう努めたい。	A
4 業務改善に向けた意識改革	① 最終退校時刻（18：30）を意識して、教材研究や授業準備、校務分掌等で効率的な業務に取り組む。	全教職員	アンケートの結果「取り組めた」と「まあまあ取り組めた」を合わせた割合が A：70%以上 B：60%以上 C：50%以上 D：50%未満	アンケートの結果、21人中20人が「取り組めた」と「まあまあ取り組めた」と回答し、割合は95.2%であった。	業務改善に向けた意識改革を重点事項に取り上げ2年目であり、職員の中に最終退校時刻を意識して業務を遂行している。単に最終退校時刻を早めることにのみとらわれることなく、業務の質を維持し効率的な業務に向け可視化を図りながら、業務改善に向けた意識をさらに高める必要がある。	A